

令和7年度文化功労者顕彰式

ノーベル賞の北川進さん、声優の野沢雅子さんら21名

令和7年度(2025年度)文化功労者顕彰式が11月4日、都内ホテルで行われた。

政府は今年度の文化功労者に、今年のノーベル化学賞に決まった北川進京都大学理事・副学長(74)や、アニメ「ドラゴンボール」の孫悟空役などで知られる声優の野沢雅子さん(89)、劇作家で演出家の野田秀樹さん(69)ら21名を決定した。

顕彰式では、松本洋平文部科学大臣から顕彰状が授与された。松本大臣はいさづて、「皆さまはそれぞれご専門の分野において、多年にわたるたゆみないご努力により、卓越した業績を挙げてこられるなど、我が国の文化の発展に多大なる貢献を果たしてこられた。



ホテルオークラ東京で執り行われた文化功労者顕彰式。文化功労者と松本文部科学大臣(前列中央)ら



文化功労者を代表してあいさつする垣添忠生さん(中央)

社会が大きく変化する中で、多様な分野の皆さまが文化功労者となられたことは明るい未来への活力になるものと確信している。皆さまの類まれなる功績とご努力に対し、またそれを支えてこられたご家族や関係の方々のご労苦に深く敬意を表する。皆さまはこれからの次代の文化をつくっていく後輩にとって、目指すべき目標とされる存在。後進の指導・育成へのご尽力も含め、我が国の文化の発展に引き続き貢献していただきたい」と述べ、功労者をたたえた。

文化功労者を代表して、国立がん研究センター名誉総長の垣添忠生さん(84)があいさつした。垣添氏は「現在も研究や修業に勤しむ同僚や後輩にとっても大きな励みになることと確信いたします。今回の栄誉を励みとし、なお一層の精進を重ね、それぞれの活動を通じて、我が国が文化芸術立国、科学技術創造立国、スポーツ立国として繁栄し、世界の国々から尊敬されるよう、微力ながら引き続き努力をいたす決意です」と語った。

ノーベル賞受賞が決まった人は文化勲章および文化功労者を選ばれるのが慣例で、北川氏は今年度の文化勲章にも決まった。今年のノーベル生理学・医学賞に決まった坂口志文大阪大学特別栄誉教授/免疫学フロンティア研究センター特任教授(74)は2017年に文化功労者、2019年に文化勲章に選ばれている。なお、文化功労者には350万円の終身年金が支給される。